

4回目を迎えた「日本スポーツマスターズ2004」が福島県で開催。武道から唯一選ばれている空手道競技は、南会津郡下郷町で3日間にわたり熱戦を繰り広げた。山形県からは出場選手最高齢78歳になる中村雄二郎氏をはじめ10名の選手が挑戦した。尚、中村氏は、第1回大会より4回目のチャレンジャーとなる。男子組手4部（55～59歳）に出場した安達選手は、今回がマスターズ初出場、初優勝、戦績は以下の通り。

優勝までの戦績

一回戦	秋葉理道(茨城)	0-8	安達
二回戦	橋本岩樹(埼玉)	2-3	安達
三回戦	佐野茂夫(千葉)	3-9	安達
準決勝	高桑直美(東京)	1-2	安達
決勝	岩切逸樹(東京)	2-8	安達



男子組手4部「安達 剛選手 初出場、初優勝！」

第四回

日本スポーツマスターズ

2004

福島大会

平成16年9月23日(祝)～25日(日)会場/福島県下郷町

マスターズ初出場、初優勝を果たした安達選手に一問一答で答えて頂きました。

出場を決意したキッカケは？

以前から、挑戦してみようと思っていた。今回、東北での開催が出場の良いきっかけとなりました。

7月にマスターズ大会の県予選会有り、2戦2勝で代表に選ばれたものの、軽く考えていた試合が、観戦していた道場生が心配するくらい、息切れが激しく、このままではとても全国では通用しないと実感しました。

どの様な練習を積まれましたか？

まずは、体重を落とすための練習。道場での指導の後に県の強化選手である二人の息子、智也、善也を相手に打ち込み練習を続けました。また県の強化練習では、若手に交じって一緒に体を動かしました。その結果、大会当日までに12キロの減量に成功、現役時代のベスト体重に近づける事ができました。

マスターズにける思い？

日頃から道場で道場生や子供たちに厳しくしている分、先生としての責任は重大。道場生、特に子供たちから見れば「先生は勝つて当たり前」と言う目に見えないプレッシャーがありました。逆に「出る限りは優勝する」「優勝しないと山形に帰れない」そんなプレッシャーを自分自身にかけて出場しました。(正直、優勝を果たせてホッとした。)

試合前日は？

時間を掛けて調整を行いました。仕事を休んで同行してくれた、二人の息子と十分な打ち込み練習をして、それから試合に臨んだので、スピードに目が慣れていて相手の動きが良く見えていました。二回戦は、審判の不本意な判定もあり、心理的に多少ベースを崩してしまいましたが、何とか勝ち進むことができました。只、3日間の長丁場。体調やモチベーションを維持させるのが大変でした。

一番印象に残った試合は？

何と言っても印象的なのは、準決勝 高桑直美選手との試合。彼とは以前。と言っても25年前の宮崎国体重量級決勝戦で3回延長の末1対0で破れ、惜敗を期した忘れる事のできない選手です。今大会は2対1で勝つことができた25年ぶりに気持ちがあツキリしました。

マスターズ2005に向けて？

今回の勝利の要因は「継続は力なり」です。時間の確保、体調管理など様々な条件をクリアし、許すならばV2連覇！を目指します。

来年は、富山県で開催。県内でも予選会を開くなど新しく参戦する選手が増えています。「生涯武道」の実践を目指しチャレンジして下さい。夢は、目指したときから目標が変わる。



▲決勝戦、見事な上段回し蹴りが決まる。

山形県地方 青少年空手道練成大会

中央講師3名を招き小・中・高合わせて196名が参加！
空手道の技術向上と相互交流を目的として八年ぶりの開催。

山形県地方青少年空手道練成大会
とき／平成16年9月4日(土)・5日(日)
場所／山形県体育館(山形市霞城公園内)



原口高司氏



金澤 実氏



芦原瑞穂氏

山形県内の空手道に励む小学生・中学生・高校生が一同に集まり、空手道の正しい理解を修得すると共に、技術の向上と相互の交流を図り青少年の健全育成を目標として山形県地方青少年空手道練成大会が、平成16年9月4日(土)

から5日(日)にかけて、山形市霞城公園にある山形県体育館で開催された。

この大会は、(財)日本武道館、全国都道府県立武道館協議会(財)全日本空手道連盟、山形県体育館、山形県空手道連盟が主催するもので、平成8年及び9年の開催に次ぐものである。

参加者は、小学生3年生以上109名、中学生31名、高校生56名、合計196名の方々がいた。

指導にあたる中央より、原口高司氏(全日本空手道連盟中央技術委員会委員、教士8段)、金澤実氏(山梨県空手道連盟事務局長、

錬士7段、芦原瑞穂氏(全日本空手道連盟理事、6段)地元講師として、飛鳥宗一郎氏(山形県空手道連盟会長、教士8段)、工藤清(山形県空手道連盟理事長、教士7段)、遠藤隆夫氏(山形県空手道連盟常任理事、6段)、飛鳥康弘氏(山形県空手道連盟理事、5段)の7名でありました。

初日は、開会式に引き続き、芦原先生により空手道の変遷流派、交流試合、正式試合、相手試合の推移、正中線、連続技の時代などについて講義があり、その後、全体での準備体操、ストレッチ、全体での基本練習、4グループに分かれての移動基本、対人練習、2日目は一斉練習、対人練習、体形での移動練習、自由組手と盛りだくさんの内容で、参加者全員に練成証書が授与されました。参加者一同基本の重要性を再認識すると共に、改めて空手道の奥深さや楽しさが理解できたのではないかと思います。これを機に、大いに練習を積み重ねられ、道場や大会の場において

大いに発揮されることを願っております。

なお、練成大会は来年度も開催する予定でありますので、是非多くの方々から参加していただきたいものと考えております。

青少年空手道練成大会に よせて

指導者として教育の原点、武道の精神を再確認
山形県空手道連盟
理事長 工藤 清

このたびの地方青少年空手道練成大会は、本県にとって平成8・9年度開催以来8年ぶりの開催でありました。将来の山形県を代表する選手を育成するためには、早い段階での強化育成が必要であることは言うまでもありません。本連盟と致しまして、強化策の大きな柱にジュニア選手の育成を上げ、県空連強化部の中にジュニア担当の部を新たに設け、強化遠征や強化練習を実施してまいりました。一方、(財)全日本空手道連盟でも、小学生・中学生・高校生・大学生・実業団・全日本マスターズなどの大会を開催し、後援し、今や小学生からマスターズまで、全ての年代で全国大会を開催している現状であります。

また、本県では全国中体連加盟に向けて、平成15年度に本県の最上地区中体連に東北ではじめて加盟を果たしたところでもあります。奇しくも、今年はアテネオリンピックの年であり、柔道・水泳・男子体操をはじめとし、日本選手の活躍がめざましいものでありましたが、その共通点は若い世代からのジュニア育成が実を結んだ結果でありました。日本の将来を背負って立つ若い青少年に、このような機会を今後とも大いに活用して頂きたいと思っております。

最後に、このたび(財)日本武道館、全国都道府県立武道館協議会の御高配により、今回の練成大会を実施させて頂きました。教育の原点は知徳体であり、併せて武道の精神は心・技・体であります。私達はこの機会に、教育の原点・武道の精神を再確認し、指導者としての意識高揚と今後の活動に大いに活かしたいと思っております。

研修内容は基本とされており、技がほとんどでしたが、二つ確認しながら、間違えていたところを直すことができました。しかし、メンホーを着けてのも立ちの時には、できたはずの技ができなくなってしまう、感覚を取り戻すのに時間がかかってしまったので、これからの練習でも練習していきたいと思いました。そして、大会でも使える技にしていきたい。

「練習の中でや講義の中で、場合、場面で備えない」と「初心生涯」という言葉が出てきました。自分は試合をしていると視野が狭くなりがちなので、備えられるようにしていきたい。また、忘れてしまっていた初心



平成16年度 山形県(山形市)地方青少年空手道練成大会

指導にあたる中央より、原口高司氏(全日本空手道連盟中央技術委員会委員、教士8段)、金澤実氏(山梨県空手道連盟事務局長、

錬士7段、芦原瑞穂氏(全日本空手道連盟理事、6段)地元講師として、飛鳥宗一郎氏(山形県空手道連盟会長、教士8段)、工藤清(山形県空手道連盟理事長、教士7段)、遠藤隆夫氏(山形県空手道連盟常任理事、6段)、飛鳥康弘氏(山形県空手道連盟理事、5段)の7名でありました。

初日は、開会式に引き続き、芦原先生により空手道の変遷流派、交流試合、正式試合、相手試合の推移、正中線、連続技の時代などについて講義があり、その後、全体での準備体操、ストレッチ、全体での基本練習、4グループに分かれての移動基本、対人練習、2日目は一斉練習、対人練習、体形での移動練習、自由組手と盛りだくさんの内容で、参加者全員に練成証書が授与されました。参加者一同基本の重要性を再認識すると共に、改めて空手道の奥深さや楽しさが理解できたのではないかと思います。これを機に、大いに練習を積み重ねられ、道場や大会の場において

大いに発揮されることを願っております。

なお、練成大会は来年度も開催する予定でありますので、是非多くの方々から参加していただきたいものと考えております。



佐藤 綾 (天童高校 二年)

実技と講義、多くの事を 学びました

練成大会を終えて

今回、練成大会に参加してみ、研修だけでなく講義も聞いて多くの事を学ぶことができました。また、技だけでなく、精神的にも学べたことが多くありました。

研修内容は基本とされており、技がほとんどでしたが、二つ確認しながら、間違えていたところを直すことができました。しかし、メンホーを着けてのも立ちの時には、できたはずの技ができなくなってしまう、感覚を取り戻すのに時間がかかってしまったので、これからの練習でも練習していきたいと思いました。そして、大会でも使える技にしていきたい。

「練習の中でや講義の中で、場合、場面で備えない」と「初心生涯」という言葉が出てきました。自分は試合をしていると視野が狭くなりがちなので、備えられるようにしていきたい。また、忘れてしまっていた初心





「受けの五原則」に驚きました！

須佐 和紀（鶴岡五中年）

に気付く、もう一度初心を常に持ち物事に対応していきたい。予定では形もするということだったのですが、結局できずに終わってしまったのが残念でした。

ります。先生方はお忙しい中わざわざ山形へお越しただいてもらった上私達にたくさん空手にまつわるお話をして下さいました。特に原口先生は中学生の方を指導してくれていたという理由もあってか空手に関するたくさんさんの知識を得ることができました。

原口先生は、私達に流水・転移・苦心・反撃・落下という受けの五原則を使った練習を指導して下さいました。私は受けの五原則があるということに関

して驚きを隠せませんでした。けれども、この受けの五原則を学んだおかげで組手の練習の時には意識して練習するようになりました。

もう一つ原口先生は空手の歴史と自分のエピソードを話して下さいました。

歴史の話では空手是中国から沖縄へ伝わり、そこから日本の九州そして本州へと伝わったということを教えて下さいました。私は空手というのは中国からそのまま日本に伝わって来たものだと思っていたのですごく関心がありました。

他に原口先生は普段何気なく行っている物を空手を意識して行えと言ったことも私達に教えて下さいました。私はこれから、原口先生や他の先生方から教わった事を意識して空手をやりたいと思います。

改めて基本の大切さがわかりました

土田 秀成（沼田小四年）



今回ぼくは、錬成大会に参加して感じた事が三つあります。二つ目は、基本の大切さです。基本は土台となる最も重要なものであり、形や組手でも欠かさない大事なものです。練習でも耳にしたことができるくらい先生方に指導されています。金澤先生と遠藤先生に指導してもらい、改めて基礎の大切さがわ

かりました。

二つ目は、練習での頭の使い方についてです。高校生の模範試合を見て、やる気だけではなく自分に何が必要なのかを考えることで、早く上達できるかなどにいかに分けられるんだなあと思いました。これからはやる気を持ち、頭を使った空手をしていきたいです。

三つ目は、学校の中での生活でも、礼儀正しく過ごすということです。金澤先生もおっしゃっていました。「空手以外の生活でも、返事をしっかりと、お辞



▲中央講師を中心に右から遠藤、飛鳥、左から飛鳥、工藤の各地元講師。

儀をしつかりこの二つを特に忘れずに過ごして下さい。「空手家として当然なんだなあと思いました。

最後に、この練習で習った事を試合の中で使ってみて、少しずつうまくなっていくしたいと思います。

※下段は、当日配布された資料より抜粋

君子の拳

君子とは学問を積み、徳行を備えた人格高潔の人をいう。即ち空手道を学ぶとする者は、空手道の修業を通して学問を究め、徳行を積んで自己完成に努め、立派な人格者になるよう努力しなければならない。

修業千日、勝負一瞬

「千日の修業を鍛え、万日の修業を錬」といわれるが、心技体が一体となつてこそ威力を発揮するものであり、勝負は瞬に決するものである。その瞬のために、千日も万日ももの練磨をしなければならない。

初心生涯

何事に限らず、最初に心に決めたことは、謙虚な心で、懸命に努力しているが、やがて上達するにつれて慢心しがちなものである。常に初心をもつて物事に対応することが肝要である。

牛歩千里

牛の歩みはゆっくりしたものであっても、休むことなく歩み続けられれば、千里の遠くまでも踏破することができる。空手道の修行の道程は限りなく遠いが、継続して稽古を続けられれば、目的とするところに到達することができる。



平成16年度 Karate party convention 大会ハイライト

第34回県社会人選手権大会

●平成16年5月9日(日)

●山形県武道館

組手団体

①深瀬商店

②山形県庁A

③山形県庁B

組手個人(35歳以上)

①佐藤 勝(山形県庁)

②齋藤 天(山形県庁)

③大戸 次男(山形県庁)

落合 敬一(山形県庁)

組手個人(有段者)

①緑川 寿幸(不二工業株)

②舟越 正(グローバルホームみずほ)

③片倉 徹(小関設備)

形(男子)

①大場 奈津実(やまのへ整形外科)

②大場 朗子(加賀山医院)

③山口 敦子(模型三(ぐいー))

形(男子)

①誠司(株)遠藤電機

②佐藤 和典(株)出羽工務所

③緑川 寿幸(不二工業株)

落合 敬一(山形県庁)

第4回全日本少年少女空手道大会

●平成16年6月13日(日)

●山形県武道館

県総合運動公園

小学1年女子個人組手

①斎藤 菜(朝陽四小)

②飛鳥 有衣子(山形南小)

小学2年女子個人組手

①伊藤 希恵(日新小)

②井上 夕希(新庄小)

小学3年女子個人組手

①佐々木 梢(沼田小)

②奥山 陽世里(天童南小)

小学4年女子個人組手

①榮 ちずる(長岡小)

②遠田 ゆかり(大沢小)

小学5年女子個人組手

①坂上 愛(堀内小)

②海老名 裕美(新庄小)

小学6年女子個人組手

①荒川 聡美(日新小)

②佐々木 梓(沼田小)

小学1年男子個人組手

①叶内 史也(日新小)

②伊藤 大和(寒河江小)

小学2年男子個人組手

①齊藤 蓮(北成小)

②三木 省之助(寒河江中部小)

小学3年男子個人組手

①佐藤 一成(鶴岡二小)

②高橋 謙悟(日新小)

小学4年男子個人組手

①増川 亮輔(米沢北部小)

②伊藤 翔治(寒河江小)

小学5年男子個人組手

①伊藤 秀(日新小)

②渡部 恭平(神町小)

小学6年男子個人組手

①土田 秀成(沼田小)

②伊藤 雅人(舟形小)

小学2年男子個人組手

①安倍 敦志(小松小)

②茂木 大地(鶴岡二小)

小学3年男子個人組手

①田沢 大志(新庄小)

②元木 貴(本台海小)

小学4年男子個人組手

①土田 秀治(沼田小)

②本間 慶太(鶴岡齊小)

小学5年男子個人組手

①仙台 充功(本台海小)

②安食 祐馬(柴橋小)

小学6年男子個人組手

①加藤 大貴(日新小)

②石井 大喜(米沢南小)

小学1年女子個人組手

①国分 桃香(新庄小)

小学2年女子個人組手

①渋谷 千彩希(柴橋小)

小学3年女子個人組手

①斎藤 桃(朝陽四小)

②小林 未侑(沼田小)

小学4年女子個人組手

①仙台 士才(本台海小)

②渡辺 葵(鶴岡二小)

小学5年女子個人組手

①神野 瑞穂(小松小)

②国分 円香(新庄小)

小学6年女子個人組手

①鈴木 春奈(本郷東小)

中学男子団体組手

①鶴岡市立第五中学校

②新庄市立日新中学校

中学女子団体組手

①鶴岡市立第五中学校

②新庄市立日新中学校

小学男子個人組手

①伊藤 謙(日新中)

②小野 晴貴(陵西中)

中学女子個人組手

①土田 ひかり(明倫中)

②伊藤 渚(日新中)

小学男子個人組手

①浅野 允玲(鶴岡五中)

②阿部 雅人(鶴岡五中)

中学女子個人組手

①土田 ひかり(明倫中)

②国井 結華(陵西中)

小学男子個人組手

①仙台 充功(本台海小)

②安食 祐馬(柴橋小)

小学6年男子個人組手

①加藤 大貴(日新小)

②石井 大喜(米沢南小)

小学1年女子個人組手

①国分 桃香(新庄小)

小学2年女子個人組手

①渋谷 千彩希(柴橋小)

小学3年女子個人組手

①斎藤 桃(朝陽四小)

②小林 未侑(沼田小)

小学4年女子個人組手

①仙台 士才(本台海小)

第12回全国中学生空手道大会

●平成16年8月1日

●東京都武道館

男子団体形

ベスト16 日新中

女子個人組手

5位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

8位 伊藤 渚(日新中)

女子個人組手

第22回県ジュニア選手権大会

●平成16年7月4日

●天童市スポーツセンター

組手(小学生男子3年)

①佐藤 一成(鶴岡二小)

②加藤 司(高松小)

③国井 健太郎(山形十小)

④菅井 尚道(鈴川小)

組手(小学生男子4年)

①土田 秀治(沼田小)

②小山 洋夢(山形七小)

③鈴木 峻太(米沢南小)

④本間 敬太(鶴岡高小)

組手(小学生男子5年)

①豊後 怜(滝山小)

②瀨野 大将(山形十小)

③叶内 史也(日新小)

④伊藤 秀(日新小)

組手(小学生男子6年)

①加藤 大貴(日新小)

②大泉 泰士(日新小)

③土田 秀成(沼田小)

④伊藤 雅人(舟形小)

組手(小学生男子3年)

①斎藤 桃(鶴岡四小)

②伊藤 千宏(左沢小)

③佐々木 梢(沼田小)

④武田 莉奈(鈴川小)

組手(小学生女子4年)

①金子 沙耶加(中部小)

②豊後 玲(滝山小)

③遠田 ゆかり(大沢小)

④仙台 士才(本台海小)

組手(小学生女子5年)

①土田 秀成(沼田小)

②伊藤 雅人(舟形小)

③伊藤 渚(日新中)

④伊藤 渚(日新中)

⑤伊藤 渚(日新中)

⑥伊藤 渚(日新中)

⑦伊藤 渚(日新中)

⑧伊藤 渚(日新中)

⑨伊藤 渚(日新中)

⑩伊藤 渚(日新中)

⑪伊藤 渚(日新中)

⑫伊藤 渚(日新中)

⑬伊藤 渚(日新中)

⑭伊藤 渚(日新中)

⑮伊藤 渚(日新中)

⑯伊藤 渚(日新中)

⑰伊藤 渚(日新中)

⑱伊藤 渚(日新中)

⑲伊藤 渚(日新中)

⑳伊藤 渚(日新中)

第59回国体・第31回東北総体予選会

●平成16年7月18日

●県総合運動公園

少年女子組手

①菅野 真奈美(南陽高)

②大武 礼奈(南陽高)

③水戸部 かり(天童高)

成人女子組手

①関東 里佳(日本体育大)

②佐竹 良江(仙台大)

③伊藤 雅人(舟形小)

④大泉 泰士(日新小)

⑤海老名 裕美(新庄小)

⑥国分 桃香(新庄小)

⑦斎藤 菜(鶴岡四小)

⑧飛鳥 有衣子(山形南小)

⑨伊藤 希恵(日新小)

⑩金沢 奈苗(桜田小)

⑪井上 夕希(新庄小)

⑫佐々木 梢(沼田小)

⑬小山 真澄(山形二小)

⑭本間 樹(平田中)

⑮伊藤 真太郎(日新中)

⑯高部 高郎(鶴岡五中)

⑰浅野 允玲(鶴岡五中)

⑱阿部 雅人(鶴岡五中)

⑲遠藤 昌幸(酒田三小)

⑳本間 匠(平田中)

㉑今野 賢太(川西二小)

㉒大沼 周平(中山中)

㉓皆本 和馬(山形二小)

㉔水口 歩子(鶴岡五中)

㉕高橋 聖(山形三小)

㉖大場 美紀(日新中)

㉗庄司 夏未(明倫中)

㉘須佐 和紀(鶴岡五中)

㉙彩花(鶴岡五中)

㉚宮野 菜(鶴岡五中)

㉛森山 玲(天童二小)

㉜山崎 雅人(鶴岡五中)

㉝浅野 允玲(鶴岡五中)

㉞江口 雅飛(山形十小)

㉟伊藤 謙(日新中)

㊱馬山(山形二小)

㊲本間 匠(平田中)

㊳海藤 佳奈(新庄中)

㊴水口 歩子(鶴岡五中)

㊵国井 結華(陵西中)

㊶中学生女子2年

㊷後藤 遙(天童三小)

㊸須佐 和紀(鶴岡五中)

㊹森 彩花(鶴岡五中)

- 第37回県空手道選手権大会
◎平成16年9月19日
◎南陽高校体育館
▲高校男子個人形
①加藤 葵(酒田南高)
②吉永 太郎(酒田南高)
③佐藤 由康(東海大山形高)
④大場 洸志(東海大山形高)
- ▲少年男子組手
①堀井 皓太(酒田南高)
②鈴木 主大(東海大山形高)
③武田 剛(東海大山形高)
成年男子組手(軽量級)
①高橋 吉将(東洋大)
②梁瀬 伸祐(天眞学園教員)
③渡部 恒祐(日本大)
成年男子組手(中量級)
①安達 善也(山形市役所)
②今野 雄太(日本大)
③後藤 直樹(奥羽警備保障)
成年男子組手(重量級)
①山科 大介(東洋大)
②加藤 道裕(桜美林大)
少年女子形
①佐藤 瑞紀(酒田南高)
②佐藤 睦(天童高)
③佐藤 梓(鶴岡中央高)
成年女子形
①大場 奈津実(やまのへ整形外科)
②大場 明子(加賀山医院)
少年男子形
①加藤 葵(酒田南高)
②鈴木 主大(東海大山形高)
③渡辺 翔太(東海大山形高)
成年男子形
①重野 誠司(遠藤電気)
②佐藤 貴仁(陸上自衛隊)
③林崎 明義(東ソースムC)
- 第31回東北総体空手道競技
◎平成16年8月28～29日
◎岩手県武道館
▲少年男子形
1位 加藤 葵(酒田南)
少年男子組手
3位 堀井 皓太(酒田南)
成年女子組手
3位 佐竹 良江(仙台大)
成年男子組手(軽量級)
3位 高橋 吉将(東洋大)
成年男子組手(中量級)
1位 安達 善也(山形市役所)
成年女子団体組手
3位 山形県
3位 山形県
総合順位
5位 山形県

- ▲一般男子個人形
①重野 誠司(長井空手道連盟)
②佐藤 直記(安達道場)
③佐藤 和典(国際松瀧館)
④舟越 正一(国際松瀧館)
▲一般・高校生個人形
①大場 奈津実(やまのへ整形外科)
②佐藤 瑞紀(酒田南高)
③大場 明子(鶴岡北高)
④水口 若子(鶴岡北高)
▲高校男子個人組手
①鈴木 主大(東海大山形高)
②武田 剛(東海大山形高)
③佐藤 義則(酒田南高)
④中村 亮太(東海大山形高)
▲一般男子個人有段者A組手
①安達 善也(山形市役所)
②梁瀬 伸祐(天眞学園教員)
③今野 雄太(日本大)
④渡部 恒祐(日本大)
▲一般男子個人有段者B組手
①小関 悟(山形大学)
②酒井原 雄大(崇武館)
③鈴木 啓介(崇武館)
④木村 義隆(崇武館)
▲一般男子個人有級組手
①山下 洋(山形大学)
②高橋 陽彦(崇武館)
③高田 浩明(崇武館)
④丹野 修太(東北芸術工科大学)
▲一般女子
①宮野 真奈美(南陽高)
②関東 里佳(日本体育大学)
③鈴木 幸恵(南陽高)
④渋谷 紗季(南陽高)
▲高校男子団体組手
①東海大山形高
②酒田南高
③山形工業高
④天童高
▲一般男子団体組手
①荘 空 館
②米澤五条空手クラブ
③崇武 館
④東北芸術工科大学
▲高校女子団体組手
①南 陽 高
②天 童 高
- 県少年少女スポーツ交流大会
空手道競技
◎平成16年10月3日
◎新庄市立日新小学校体育館
▲男子総合
①新庄市スポーツ少年団
②白鷹町スポーツ少年団
③女子総合
①新庄市スポーツ少年団
②安達道場双葉スポーツ少年団
③男子団体形

- 第15回県ジュニア選抜空手道大会
◎平成16年11月14日
◎小真木原運動公園
▲形小学生男子1年
①叶内 央也(日新小)
②岡田 翔平(泉小)
③伊藤 大和(寒河江小)
▲形小学生男子2年
①齋藤 蓮(北辰小)
②飯塚 銀弥(泉小)
③齋藤 賢人(鶴岡四小)
▲形小学生男子3年
①佐藤 一成(鶴岡一小)
②田沢 大進(新庄小)
③石井 友喜(米沢南部分小)
▲形小学生男子4年
①増川 亮輔(米沢北部分小)
②工藤 彰悟(寒河江中部小)
③鈴木 峻太(米沢南部分小)
- ▲形小学生男子5年
①伊藤 秀(日新小)
②渡部 恭平(神町小)
③叶内 奨也(日新小)
▲形小学生男子6年
①伊藤 雅人(舟形小)
②大泉 泰士(日新小)
③五十嵐 直央(鶴岡四小)
▲形中学生男子1年
①伊藤 功貴(日新中)
②伊藤 真太郎(日新中)
③本間 高朗(鶴岡五中)
▲形中学生男子2年
①阿部 雅人(鶴岡五中)
②高橋 直起(鶴岡五中)
③小野 晴貴(陵西中)
▲形中学生男子3年
①本間 匠(平田中)
②皆本 和馬(山形二中)
▲形小学生男子1年
①国分 桃香(新庄小)
②斎藤 菜(鶴岡四小)
③飛鳥 有衣子(山形南小)
▲形小学生女子2年
①伊藤 希恵(日新小)
②小田嶋 佳奈(鶴岡二小)
▲形小学生女子3年
①金沢 奈由(桜田小)
②小林 未侑(沼田小)
③奥山 陽世里(天童南部分小)
▲形小学生女子4年
①榮 ちずる(長岡小)
②安孫子 沙秀(南沼原小)
③上野 夏生(鶴岡四小)
▲形小学生女子5年
①坂上 愛(堀内小)
②国分 円香(新庄小)
③佐藤 里奈(鶴岡六小)
▲形小学生女子6年
①佐々木 梓(沼田小)
②中里 帆乃加(鶴岡大泉小)
③中里 帆乃加(鶴岡大泉小)
▲形中学生男子1年
①海藤 佳奈(新庄中)
②菅野 遼(鶴岡二中)
③水口 歩子(鶴岡五中)
▲形中学生男子2年
①後藤 遥(天童三中)
②高取 彩子(陵南中)
③須佐 和紀(鶴岡五中)
▲形中学生女子3年
①星川 幸(酒田六中)
②栗野 舞(山形四中)
▲組手小学生男子3年
①田沢 大志(新庄小)
②元木 貴(本合海小)
③井上 翔太(山形四小)
④池田 那生(一條小)
▲組手小学生男子4年

- ▲形小学生男子5年
①小田 洋夢(山形七小)
②土田 秀治(沼田小)
③鈴木 峻太(米沢南部分小)
④本間 敬太(鶴岡南小)
▲組手小学生男子5年
①仙台 充功(本合海小)
②叶内 奨也(日新小)
③茂木 信宏(荒砥小)
④伊藤 秀(日新小)
▲組手小学生男子6年
①加藤 大貴(日新小)
②土田 秀成(沼田小)
③大泉 泰士(日新小)
④菊地 拓斗(左沢小)
▲組手中学生男子1年
①小山 真澄(山形一中)
②本間 匠(平田中)
③伊藤 真太郎(日新中)
▲組手中学生男子2年
①小野 晴貴(陵西中)
②遠藤 昌幸(酒田三中)
③山口 周郎(羽黒中)
▲組手中学生男子3年
①本間 匠(平田中)
②小田嶋 佳奈(鶴岡二小)
③大沼 周平(中山中)
▲組手小学生女子3年
①小林 未侑(沼田小)
②佐々木 桃(沼田小)
③斎藤 愛理(泉小)
▲組手小学生女子4年
①豊田 ひかり(大沢小)
②遠田 ひとみ(本合海小)
③金子 沙耶加(中部小)
▲組手小学生女子5年
①神野 瑞穂(平松小)
②坂上 愛(大堀小)
③国分 円香(新庄小)

- ▲組手小学生女子6年
①佐々木 香夏(山形十小)
②鈴木 春奈(本郷東小)
③佐々木 梓(沼田小)
▲組手小学生女子7年
①水口 歩子(鶴岡五中)
②大場 美紀(日新中)
③海藤 佳奈(新庄中)
④庄司 夏未(明倫中)
▲組手中学生男子2年
①森 彩花(鶴岡五中)
②須佐 和紀(鶴岡五中)
③高取 彩子(陵南中)
④宮野 菜(鶴岡五中)
▲組手中学生女子2年
①星川 幸(酒田六中)
②栗野 舞(山形四中)
③梅津 あり(白鷹東中)

- 第59回国民体育大会
◎平成16年10月24～26日
◎埼玉県上里町民体育館
▲少年少女個人形
佐藤 瑞紀 1回戦敗退
少年少女組手個人
菅野 真奈美 2回戦敗退
少年男子組手個人
鈴木 主大 1回戦敗退
成年男子組手個人
関東 里佳 1回戦敗退
成年男子個人形
重野 誠司 1回戦敗退
成年男子組手個人(軽量級)
高橋 吉将 2回戦敗退
成年男子組手個人(中量級)
梁瀬 伸祐 2回戦敗退
成年男子組手個人(重量級)
安達 善也 5位入賞
▲成年男子組手団体
山形県 2回戦敗退



成年男子組手(重量級)安達善也選手
▼5位入賞

空手 あれこれ 談話 (八)

山形県空手道連盟会長

飛鳥宗一郎

今回は「指導者」や「中高年」から空手を始めようとする方へのアドバイス。

年齢と体力の関わり

人間が生きていくために必要な身体能力を「体力」といいます。体力は、次のとおり考えられます。

1 精神要素

ア、防衛体力
ストレスに対する抵抗力
など

イ、行動体力

意思・判断・意欲など

2 身体的要素

ア、防衛体力
器官・組織の構造や、体温調節・免疫・適応能力
など

イ、行動体力

体格・体型や筋力・敏捷力・瞬発力・持久力・柔軟性など空手道の練習で必要なのは、頑張る力の「精神的要素」と、行動する「身体的要素」の両方です。

最近、「生涯スポーツ」という言葉が新聞やテキストに頻出します。

今回は、「指導者」は勿論、「中高年」から空手を始めようとする方へのアドバイスです。

表 1

(単位: kg)

年齢 (歳)	握力		背筋力		腕力		脚力	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10	18.5	16.5	61.3	47.4	9.0	8.4	-	-
15	40.5	27.3	122.1	82.4	25.5	16.4	-	-
20	49.3	30.0	144.6	88.5	28.4	16.8	120	92
25	50.2	30.9	145.7	89.0	27.8	16.2	115	90
30	50.2	31.1	145.5	88.0	26.2	15.2	110	87
35	49.8	31.0	145.0	86.3	24.2	14.8	100	81
40	48.3	30.3	143.5	82.3	22.4	14.3	89	74
45	46.8	29.5	138.8	77.6	22.0	13.9	79	65
50	45.0	28.2	132.8	72.3	21.04	13.5	73	54
55	43.0	27.0	124.8	66.2	20.8	13.3	62	45
60	40.5	25.3	114.4	58.5	20.0	13.0	52	40
65	37.5	23.0	102.2	50.9	19.0	12.0	-	-
70	34.8	20.9	89.0	41.1	-	-	-	-

日本人の筋力(浅見、1984年)

日本人の筋力

平均的な男女と年齢別の測

定値が「表1」です。まず、その変化に注目し念頭にお

いてください。

中高年の身体能力の特性

20〜24歳の最高期を基準とした55〜59歳の各種機能別水準の相対的関係図が「表2」です。外枠「斜線」部分が機能低下の著しいところですが、内枠の項目によって各目の機能能力と比較してください。

表 2



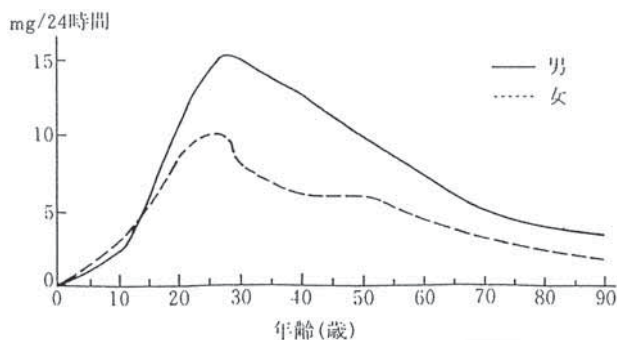
向老者の身体機能の特性(斎藤)

年齢による筋肉トレーニングの効果

男性ホルモンが有意に作用するので、女性は男性に比べ筋肥大など筋トレーニングの効果は小さいです。

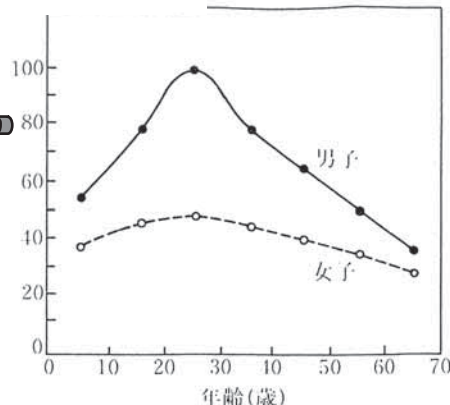
最初の「表3-1」は実際の筋トレーニング(可能性)を表し、次の「表3-2」は筋トレーニングと最も関連が深いといわれる男性ホルモンの10・ケテストステロイド排泄量を示します。

表3-2



年齢及び性との関連からみた10-ケテストステロイドの排泄量(ハムブルガー)

表3-1



筋肉トレーニングの可能性
([アイソメトリックス]ヘティンガー)

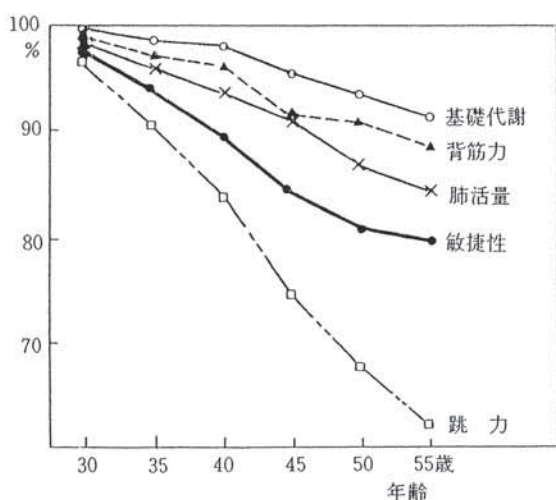
20歳代で大きな山を作るが、加齢とともに急激に低下します。一方女性は上昇も下降も緩やかなカーブを描き、加齢とともに男女差は極めて小さくなる。しかし、この表の全てを肯定してはいけません。何故ならば、強い筋肉刺激によってホ

ルモン排泄量の増加が証明されているからいっしょ。

諸機能の年齢的变化

機能別の年齢変化が「表4」です。「基礎代謝」の低下が緩やかなのは幸いです。「跳力」の低下が著しいのは、屈筋(曲げるときの筋肉)に比べ伸筋(伸ばすときの筋肉)の衰えが早く現れるからです。とすれば、「突き」「蹴り」の威力が要注意です。

「肺活量」も低下していますが、これはスタミナに関係します。訓練によって改善可能な部分です。

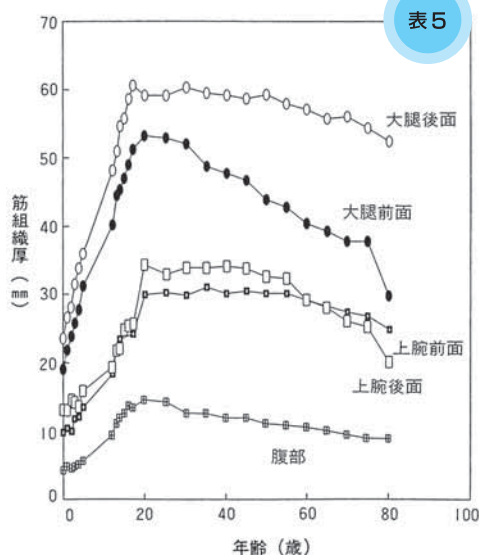


諸機能の年齢的变化 (石井、藤木)

加齢に伴う筋肉厚の変化

筋肉は、太いほど大きい力をだせる筋断面積に比例するといわれます。「表5」は筋肉の場所と厚さ(太さ)と年齢の関係を示しています。この表でも屈筋と伸筋の特徴が読み

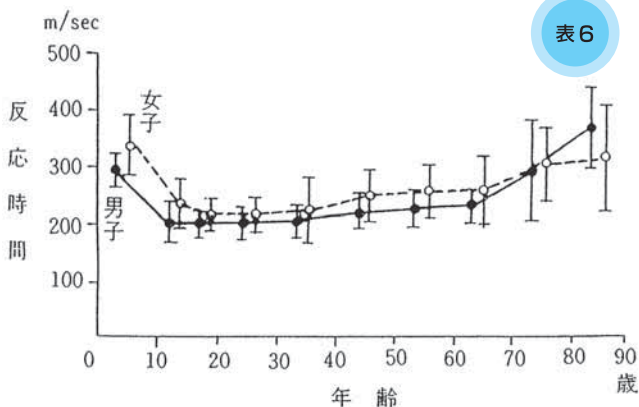
表5



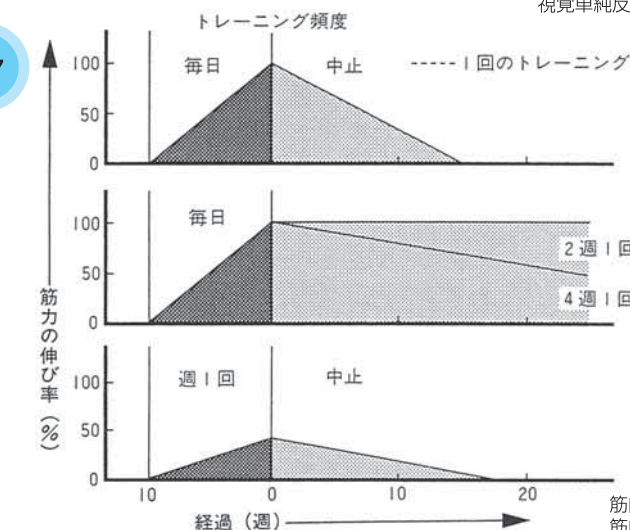
筋肉組織厚の発達及び加齢変化 (安部、福永)

表4

表6



視覚単純反応時間の変化 (村越ら)



筋力トレーニングの頻度と筋力の増減 (ヘティンガー)

読み(予測)の能力が大切です。これからも訓練によって改善が可能です。

「ヘティンガー」

ここに引用した各表の数値は、一般人(平均的生活者)と考えて差し支えない。日頃激しい練習を継続している人達は「実年齢体力」を大きく上回る(若い)とともに、途中からでも猛練習によって向上する。

筆者の場合、ウエイトトレーニングを開始したのは59歳からで、身体的要素ばかりでなく、精神的要素にもプラス面が多かったとおもいます。年齢を重ねるごとに、工夫を凝らし練習量を増やす努力が大切です。

ただし、個人差があることを忘れないでください。質問や相談があれば何時でもご連絡ください。

最後に、「表7」は筋肉トレーニングを例に効果の持続性を示します。

空手練習もこれと変わりません。

なお、各表は次から引用しました。

- ①「C級スポーツ指導員教本」及び「C級コーチ教本」(財)日本体育協会発行
- ②「筋肉」(筋肉の構造・役割と筋出力のメカニズム)湯浅景元著、(株)山海堂発行



県連盟に新たな歴史を刻む！崇武館本部道場完成！

崇武館本部

館長 飛鳥宗一郎



我々が今回伺ったのは、山形県空手道連盟会長飛鳥宗一郎先生の崇武館本部道場です。道場は、今年完成しまして1月9日に初稽古したば

かりで28坪程の真新しい道場でした。我々は早速中に入れて頂きました。未だ木の香りが残る明るい道場で、ビーンと張った緊張が感じられました。先生に伺いましたら、近所が密集しているので壁に防音の工夫が成され、更に暖房が完備されていて快適に練習出来るとの事でした。また、正面には大塚博紀最高師範の写真、その横に「慙恥質直（さんちしつじき）」と書かれた額がありました。道場開きの際に門下生にこの意味を述べられたとの事です。我々も教えて頂きました。

を心の中のきれいな鏡に映し出してみて、己の至らなさに気付かされ反省させられる一更に「質直」とは一自己に忠実な信念を持ち、妬みおもんねる心を整え、純粹で執われない心で人に接して生きていくーと言う意味との事です。



飛鳥先生の指導方法、強いては人柄、生き方、が如実に表わされた言葉です。しばらくして練習が始まりました。

最年長の中村雄二郎氏を先頭に

その場突き、その場蹴り、更に四股立ちでの突き、そのうち3分の2を占める山田生医学部生、芸工大生の顔からは汗が流れていました。

その中で最年長の中村氏は平然としておられました。正に飛鳥先生の仰しゃる生涯空手を身をもって実行されている姿がそこにありました。

中村氏だけではなく、飛鳥先生も毎年マスター

ズに出場されており、第3回大会では準優勝とすばらしい結果を残されています。その源は月・水・金は、般、大学生を火・木は子供達を、加えて火曜会8時〜10時迄、レディス部は第三土曜日に指導し、更に土・日は県連の会長としての職務を遂行されると言う。気力と行動力だと思われまします。しばらくして飛鳥先生の移動基本に入りました。穏和な口調で実践しながらの指導には、練習生全員が真剣な顔で見入っていました。よく見ましたら練習生の3分の1は女性の方でした。女性の門下生が多いのもまた先生の人柄を表すものです。

これからも県連盟の柱として老若男女が生涯空手道を歩む事のできるご指導を宜しくお願い致します。さらなるご活躍を祈念いたします。



▲正面に飾られた「慙恥質直」（さんちしつじき）の額



やまがた空手MAP PART 4

山形県空手道連盟/道場紹介

県内にはたくさんの仲間が空手道を武道・スポーツとして楽しんでいます。空手マップパート4では、県連に加盟する各地区の道場を紹介していきます。

鶴岡市・(社)日本空手協会鶴岡中央支部



- 流派/松濤館流
- 支部長/富樫弘行
- 設立/11年
- 道場生/20名

我が支部は、平成11年に結成されました。今までは(社)日本空手協会の大会だけの活動でした。今では、やっと協会内の支部として認められてきた様に思います。

そしてこの度、山形県空手道連盟の仲間に入れていただきました。支部のモットーは、心・技・体です。私はまだまだ未熟ですが、できるだけバランスの取れた指導者を心がけています。まだまだ課題の多い、歴史の浅い支部ですが、子供達には本当に恵まれていて、協会内の東北・全国の形の部では、活躍してくれています。稽古は平日のほぼ毎日、結構厳しい稽古にみんながよく付いて来てくれます。課題は組手だと思っていますので、これからは日本空手協会と全空連の皆さんと試合を経験しながら、お互いが少しでも強く成れば良いなと思っています。全空連のルールはまだよく分かりませんが、少しずつ山形県空手道連盟の皆さんに馴染んでいこうと思っています。これからよろしくお願いします。

連絡先～TEL/FAX 0235-24-5260



余目町・余目空友会



- 流派/松濤館流
- 師範/遠田 修
- 設立/1974年5月
- 道場生/28名

余目空友会は、昭和49年に日本空手協会余目支部として発足し、足掛け30年になります。

しかし、途中会員の減少により最近まで活動は休止の状態でありました。平成11年に細々と活動を再開し、平成14年には余目空手道スポーツ少年団を立ち上げ、その後県空手道連盟にも加入承認をいただき今に至っています。

現在、小学生を中心に28名の会員があり、4名の指導者と会員の保護者が連携を図りながら、毎週2回の練習と季節に合わせた行事を行っています。

活動間もない私達の目標は、まず大会に出場する事、次にその大会で実績を残せるようになる事、そして黒帯を取る事です。ただ目先の目標はそうであっても、究極は空手道を通して松濤五条訓にある人格完成であり、練習の最後には全員でその五条訓を唱和し、常に自分と向き合う姿勢を作っています。

私達の取り組みはまだまだ発展途上であり、他団体のご指導をいただきながら一歩一歩地道に活動を続けて行きたいと考えています。

練習日 毎週木曜日 午後7時～8時30分
毎週土曜日 午後1時30分～3時30分
練習場所 余目武道館
連絡先 0234-43-4503

拳和会館村山支部



- 流派/剛柔会
- 師範/緑川寿幸
- 設立/2000年10月
- 道場生/約25名

道場訓である「努力」「礼節」「信頼」を目標に平成12年に支部を設立しました。住んでい

る地域では空手道が浸透してなくて、私の友人から「空手道を広めよう」との一言がきっかけで始めました。

現在は大人の方は少数ですが小学生が中心の中、とても元気な子供達と一緒に「大きな声で、元気よく、気合を入れて、カー杯」指導者に向け共に空手道の稽古に励んでいます。

数年前からの格闘技ブームにより「強くなりたい」「体を鍛えたい」と言う方や、「礼儀正しくさせたい」「おとなしくさせたい」などで見学に来られる方が多いです。

指導者として願う事でもあると思いますが、それだけではないと考えます。空手道を通じて「大人の話を聞ける姿勢、素直さを身につけさせて子供達自身を大きくさせる」「武道は礼に始まり礼に終わる」基本姿勢が大切だと思います。

ただ「強くなる」と言うだけでは、負けた時に嫌になってしまいます。「武道をやって培った克己心とか平常心とか、そういう基本姿勢がしっかりしていれば、困難に直面しても頑張ろうという気持ちになれるのでは？」と信じて指導者としてもまだ若い私ですが、地域に浸透して子供達(稽古生)と共に精進したいと思っています。

練習日～毎週火曜日 午後7時30分～9時
練習場所～楯岡中学校武道館
連絡先～TEL/FAX 1237-55-3570

指定形講習会 及び 公認段審査会

講師に小斎則夫先生を招き剛柔会第二指定形「セイサン」「クルルンファー」を学ぶ

とき／平成16年12月5日(日)
場所／県総合運動公園剣道場

これまで普及部では毎年指導者講習会を行ってきましたが、平成18年度から第2指定形が採用される予定であることを踏まえ、一般会員を対象とした「指定形講習会」と改め、12月5日(日)に天童市の県総合運動公園剣道場を会場として実施しました。

講師は、宮城県名取市の小斎則夫先生(剛柔会公認7段、全国組・形公認審判員)で、剛柔会の第2指定形であるセイ

サン(十三手)及びクルルンファー(久留頓破)を指導していただきました。受講者は、一般の部が約30名、高校・中学(有段者)が約30名でした。

午後1時15分から4時までの時間で2つの形を覚えることは大変ですが、小斎講師の指導方法が解り易く、受講生も一生懸命練習した甲斐あって、殆どの方が形の順序を一通りマスターしたようでした。これからの形試合は、トーナメント制に移行して行く流れですので、普及部としても指定形及び自由形の普及に努めて行きたいと考えております。

小斎先生及び参加された方々に御礼申し上げます。

また、春季公認段審査会は、4月25日(日)に、山形市総合スポーツセンター武道場において、秋季公認段審査会は、12月5日(日)に、天童市の県総合運動公園剣道場においてそれぞれ開催されました。この結果、見事合格された方々(推薦等を含む)は後述の通りです。なお、今後の課題として、審査員から審査会場に入場できる者は、受審者、審査員及び係員に限定すべきであること、また、式段及び参段受審者は形を2つやるべきではないかという意見がありますので、来年に向けて検討していきます。

平成16年度
公認段審査会
春季・秋季合格者名

参段の部

高校・一般の部

上野 薫(荘内空心会)
阿部 睦(荘内空心会)
緑川 寿幸(拳和会館村山支部)

大場奈津美(安達道場)
小塚 脩平(山形大学)

式段の部

少年の部

阿部 雅人(荘内空心会)
高橋 直起(荘内空心会)

高校・一般の部

伊藤いずみ(余目空友会)
小関 文章(崇武館)
斉藤 祐一(崇武館新庄)
千田 隆行(山形大学)

初段の部

少年の部

佐藤 一成(荘内空心会)
松田 和也(荘内空心会)
遠田 航平(余目空友会)
亀田 直樹(余目空友会)
佐藤 克成(荘内空心会)
高橋明香奈(荘内空心会)
高橋 優人(荘内空心会)
斎藤 和希(荘内空心会)

斎藤 述和(荘内空心会)
廣飯 正樹(荘内空心会)
佐藤 友希(荘内空心会)
土岐 和志(荘内空心会)
富樫 亮史(荘内空心会)
伊藤 寛祥(余目空友会)
佐藤 龍也(余目空友会)
大滝 由佳(荘内空心会)
上林さと美(荘内空心会)
太田 彩瑛(余目空友会)
遠田 優平(余目空友会)
須佐 和紀(荘内空心会)

高校・一般の部

大武 礼奈(南陽高校)
平 雄平(南陽高校)
大浦 加奈(南陽高校)
今野 貴大(南陽高校)
菅野真奈美(南陽高校)
関 誓(荘内空心会)

加藤 葵(崇武館新庄)
土田 秀元(崇武館新庄)
片桐 悠(天童高校)
佐藤 睦(天童高校)
水戸部かほり(天童高校)
高橋 唯(天童高校)
大場奈津美(安達道場)
東條 穰(天童高校)
佐藤 有里香(至道館)
土田 秀興(崇武館新庄)
後藤 哲志(至道館)
武田 剛(崇武館)

昇段おめでとう！皆さんの更なる精進を祈念します。



平成17年度

県空手道連盟 総会

平成17年2月6日(日)山形市「あこや会館」を会場として、県内より役員・理事44名が出席をして開催された。

① 県連盟40周年記念事業開催

山形県空手道連盟は、昭和40年11月12日結成以来、本年度40周年を迎える。この40周年の記念事業を平成17年11月12日(土)ホテルキャッスルを会場に開催する事が決定された。

40周年事業内容

- (1) 記念式典の開催
- (2) 40周年記念誌の発行
- (3) 県連主催4大会を記念大会とする
- (4) 表彰基準に該当する個人・団体に、功績を称え表彰状、感謝状を贈呈する

② 第二回山形県青少年武道練成大会開催

昨年、好評だった練成大会が本年も8月27日・28日の二日間、山形県体育館を会場に開催される。中央講師を3名招き基本から自由組手まで盛りだくさんの内容で行われる。改めて空手道の奥深さや楽しさを理解する良い機会である。多くの方々に参加して頂きたいと思っております。

③ 形のフラッグ制を本年度より実施

全空連の形競技規定がフラッグ制を採用した事により、県空連主催の各大会においても、旗判定方式を本年度より全試合採用する事が決定された。従来と大きく異なるのは、組手試合と同様にトーナメント戦で試合を行い、判定方法がフラッグ制(赤・青旗での過半数の票を獲得したものが勝ち)で判定をする。競技規定では、審判員は3名または5名とあるが、ジュニア及びジュニア選抜は基本的には5名の審判で行う。詳細については4月の審判講習会で実技を通じて説明をする。

試合の進行

- 1) 赤・青選手は、組手競技と同様に入場し礼を行う。(正面に礼とお互いに礼)
- 2) 選手は座って試合の順番を待つ。

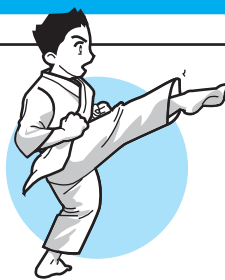


- 3) ① 一人で行う場合は、所定の位置に立ち礼、形名を申告し、用意して始める。
- ② 二人同時に行う場合は、赤、青所定の位置に立ち礼、形名を申告し、用意して、主審の合図(笛)で始める。
- ③ 準決勝より二人で行う。
- 4) 選手は形が終了したら、所定の位置で判定を待つ。
- 5) 主審は副審に判定を求め、笛を2つの音調で吹き、主審、副審は同時に旗を上げる。(3人又は5人呼び出し係が判定を、赤又は青旗を上げながら宣告したら、主審は笛を1つ短く吹き各審判の旗を降ろさせる。
- 7) 選手は(正面に)礼をして退場する。

大会名	クラス	形の必要数	申し合わせ事項
山形県社会人選手権大会	一般	3	1回戦と2回戦と3回戦は異なる形を行い、それ以降は同じ形でも、異なる形でも良い。但し、一部1回戦があるトーナメントの場合、1回戦と2回戦は同じ形でも良いが3回戦、4回戦は異なる形をしなければならない。
山形県ジュニア選手権大会	小学1・2年	1	何回戦であっても一つの形でも良い。
山形県ジュニア選手権大会	小学3・4年	2	1回戦と2回戦は異なる形を行い、それ以降は同じ形でも異なる形でも良い。但し、一部1回戦があるトーナメントの場合、1回戦と2回戦は同じ形でも良いが3回戦は異なる形をしなければならない。
山形県ジュニア選抜選手権大会	小学5・6年 中学生	3	1回戦と2回戦と3回戦は異なる形を行い、それ以降は同じ形でも、異なる形でも良い。但し、一部1回戦があるトーナメントの場合、1回戦と2回戦は同じ形でも良いが3回戦、4回戦は異なる形をしなければならない。
国体予選会 山形県空手道選手権大会	高校・一般	3	1回戦と2回戦と3回戦は異なる形を行い、それ以降は同じ形でも、異なる形でも良い。但し、一部1回戦があるトーナメントの場合、1回戦と2回戦は同じ形でも良いが3回戦、4回戦は異なる形をしなければならない。



▲事業計画を発表する工藤清理事長



平成17年度事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所
1 月 28 日	県連会計監査	県あこや会館
2 月 6 日	平成17年度県空手道連盟総会	県あこや会館
2 月 11 日	東北地区協議会代表者会議	仙台市内
2 月 12 日	東北地区指導者技術講習会	仙台市青葉体育館
2 月 26 日 ～ 27 日	ジュニア強化合宿練習会 小学6年生・中学生対象	天童市スポーツセンター
3 月 5 日 ～ 6 日	公認4・5段審査会及び公認地区組手審判審査会 公認地区形審判審査会	仙台武道館 仙台武道館
3 月 19 日 ～ 20 日	形指導強化講習会 講師/大出敏夫氏 (糸東会理事)	山形市スポーツセンター
3 月 28 日 ～ 30 日	全国高校選抜大会	福岡国際センター
4 月 9 日 ～ 10 日	全国形審判員講習会(午前中のみ)・全国組手審判員講習会 同上	東京都郵政体育館
4 月 24 日	第4回東北学生個人選手権大会	大河原町総合体育館
4 月 24 日	審判員協議会総会 県審判員講習会・公認段位審査会(初段～三段)	山形市スポーツセンター
5 月 3 日 ～ 5 日	ジュニア強化遠征	青森県
5 月 7 日	村山地区高校総体	東海大学山形高校
5 月 8 日	第34回社会人大会	県武道館
5 月 14 日	第8回東北中学校選手権大会	宮城県武道館
5 月 22 日	山形市大会	山形市スポーツセンター
5 月 4 日	県高校総体	山形市スポーツセンター
6 月 12 日	全日本小学生・全国中学生大会山形県予選会	県総合運動公園サブ
6 月 19 日	東北大学総体(26日に変更可能性有)	岩手大学
6 月 24 日 ～ 26 日	東北高校総体	岩手県宮城武道館
6 月 10 日	第23回県ジュニア選手権大会	天童市スポーツセンター
7 月 17 日	国体・東北総体県予選会	県総合運動公園

日 程	事 業・行 事	場 所
7 月 30 日	全日本少年武道錬成会	日本武道館
7 月 31 日	第5回全日本少年少女選手権大会	東京武道館
8 月 3 日 ～ 5 日	全国高校総体	千葉県浦安市
8 月 20 日 ～ 21 日	第13回全国中学生空手道選手権大会	高知県高知市黒潮アリーナ
8 月 27 日 ～ 28 日	山形県青少年武道錬成大会(日本武道館・県体育館共催) 小・中・高校生対象予定	山形県体育館
8 月 28 日	日本体育協会公認指導員義務講習会	宮城県武道館
9 月 2 日 ～ 4 日	第32回東北総合大会	秋田県像湯町民体育館
9 月 10 日	村山地区高校新人戦	天童高校
9 月 11 日	第38回県空手道選手権大会	新庄市
9 月 23 日 ～ 25 日	日本マスタース空手道競技(第4回)	富山県
9 月 24 日	第4回東北大学選手権大会・新人戦	宮城県武道館
10 月 1 日 ～ 2 日	1.2級資格審査員研修 競技力向上指導者義務講習会	枇杷島スポーツセンター
10 月 2 日	第13回県少年少女交流大会	天童高校
10 月 23 日 ～ 25 日	第60回国民体育大会	岡山県倉敷市
11 月 6 日	県高校総体新人戦	県総合運動公園
11 月 12 日	山形県空手道連盟40周年記念式典・祝賀会	ホテルキャッスル(山形市内)
11 月 13 日	第16回県ジュニア選抜選手権大会	県総合運動公園
11 月 19 日 ～ 20 日	公認6段審査会 公認7段審査会	東京都郵政体育館 東京都郵政体育館
12 月 4 日	県連審判講習会・公認段位審査会(初～三段)	県総合運動公園柔道場
12 月 11 日	第33回全日本空手道選手権大会	日本武道館
12 月 日	県連形講習会	未定
1 月 20 日 ～ 22 日	東北高校選抜大会	岩手県宮城武道館